

# 令和3年度 学校自己評価システムシート（山村国際高等学校）

本年度努力目標	<p>1 学習指導においては、基礎・基本の徹底をはかるとともに、大学入試に対応できる応用力を育成する。また、生徒が主体的に授業に取り組む環境づくりに努める。</p> <p>2 進路指導においては、一人ひとりの進路に応じた適切な指導と、自己理解に向けた支援を行い、進路実現に努める。</p> <p>3 生徒指導においては、基本的生活習慣の確立に努めるとともに、自他を尊重する寛容と協力の精神の育成に努める。</p>
---------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	おおむね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

第三者委員 5名
<p>※新型コロナウイルスの関係で予定していた令和3年度第三者委員会は中止となった。第三者委員の方々には、令和4年度第1回第三者委員会において、お送りした学校自己評価・学校評価アンケートの結果を踏まえて評価して頂いた。</p>

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価（3月20日現在）		
年 度 目 標					年 度 評 価（3月20日現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○生徒の学力差が大きく、中には基礎学力が不足している生徒もいる。その克服のためにも、まず「授業」を大切にさせる。	学習指導	○一時間一時間の授業に真摯に臨む姿勢を身に付けさせるための工夫・研究を重ねる。 ○「わかる」ということを実感させる。	○生徒の私語・居眠りが減り、前向きに授業に取り組む姿勢がうかがえるか。 ○「わかる」ことが達成されたか。	授業中の私語や居眠りは着実に減少している。授業における電子黒板やタブレットの利用も定着し、授業にも積極的に取り組む生徒が増加している。	B	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、感染対策をとりつつ、できる限り通常の活動を行ってきた。そのため、影響は最小限に抑えることができたが、今後はリモート授業の有効活用もより検討していく必要がある。
2	○教室環境を整え、生徒一人ひとりが協同してクラス作りに参加する自発性を養成することに努める。	学級経営	○一人ひとりの役割とその責任を意識づける。 ○他者を常に自己の指標とする協同性を身に付けさせる。	○教室は常に整頓されているか。 ○クラスの友人関係は良好か。 ○役割は責任をもって果たされたか。	学級経営自体には大きな問題は見られないが、教室・施設において、清掃面での改善すべき箇所が若干であるが見られた。	B	校舎の老朽化が進んでいるため、より教室内の整理整頓に努め、学習環境を整えていかなければならない。清掃に関しても清掃監督の教員がしっかりと生徒を指導し、その役割の意識付けをしていかなければならない。
3	○基本的生活習慣の確立 ○公平・公正な視点からルールの遵守について身に付けさせなければならない。	生徒指導	○あいさつ及び他を思いやる心、また言葉づかいの指導を図る。 ○保護者との連携を密にし、しっかりと協力する。 ○『5分前行動』の徹底	○基本的生活習慣は身に付いたか。 ○保護者の理解を得た指導が行われたか。	指導処置件数全体としては減少しており、大きな問題はないようである。	A	新型コロナウイルス感染症による行事予定の変更は本年度も続いた。ただ、昨年度と比較をすれば、リモート等の様々な工夫の中、できる限りの行事・研修を行うことはできた。あいさつと5分前行動については、指導を継続していかなければならない。
4	○目的を明確にし、自己の将来設計をしっかりと考えさせる。 ○自己の現状を知り、一つ上の目標を立てさせる。 ○一人ひとりに懇切に接し進路実現に向ける。	進路指導	○的確な進路指導の充実。 ○一人ひとりの適性を見極めて指導することで個々の意識を明確にする。 ○数値目標を設定させる。	○生徒一人ひとりが自己の進路についてしっかり考えることができたか。 ○掲げた数値目標は達成できたか。	生徒の進路に向かう姿勢も積極的になっており、進路結果は目標数値には若干及ばなかったが、難関国立大学や難関私立大学の合格者もあり、おおむね達成できた。	B	学習面においては、昨年度の影響を多少なりとも受けていると思われるが、本年度は進路行事もおおむね実施することができた。次年度は一昨年度の状態の戻すのではなく、この2年間を踏まえた上で、より充実した進路指導を考えていく必要がある。
5	○すべての生徒が学校行事や部活動に積極的に参加するよう全体で取り組み、より学校の活性化を図る。	学校生活	○すべての生徒が協同して学校行事に参加できるような確かな指導を行う。 ○部活動の活性化と充実した成果をめざして指導する。	○生徒は積極的に学校行事や部活動に参加できたか。 ○部活動は充実した成果をあげることができたか。	ダンス部の全国優勝を筆頭に、各部活動それぞれが感染防止対策をとりながら好成績をとることができた。	B	次年度は、通常の学校行事を経験したことのない生徒のみとなる過去に例のない状況となる。それを踏まえて、様々な行事の内容も含め、新たに構築していく必要がある。

第 三 者 評 価	
実施日 令和3年 6月13日	
第三者委員からの意見・要望等	評価
ICT機器を利用した教育環境はよく整備されており、それを活用した授業が展開されており、補習等の学習意欲を伸ばす対応もできている。居眠りや私語も授業の様子を見る限り、問題があるほどとは言えないのではないか。	A
学級経営に対する生徒の満足度は非常に高い状態が継続しており、清掃もしっかりできているように見えるが、今後も継続して指導をお願いしたい。	B
生徒・保護者の満足度も高く、信頼関係に基づいた指導が行われていると思われる。引き続き信頼関係に基づく生徒指導をお願いしたい。	A
進路指導については全体的に充実しているようであり、それが満足度、そして進路結果に結び付いていると思われる。今後もより良い指導をお願いしたい。	A
体育祭や文化祭などの学校行事が縮小となりながらも工夫して実施できたのは良かったのではないかと。また、部活動は結果を出しており、よく学校名を耳にした。学校生活全般で満足度が高いことは良いと思う。	A

